

情報公開（オプトアウト）

| | |
|----------|---|
| 1. 承認番号 | 5-16 |
| 2. 課題名 | 腹腔内膿瘍におけるカルバペネム系抗菌薬抵抗例のリスク因子に関する研究 |
| 3. 研究の期間 | 研究許可日～学会発表(2024年6月23日)まで予定 |
| 4. 研究の概要 | <p>(目的)</p> <p>カルバペネム系抗菌薬は、グラム陽性菌、グラム陰性菌及び嫌気性菌に対して幅広い抗菌スペクトルと強い抗菌活性を示す。そのため、嫌気性菌感染症、特に腹腔内感染症の治療において重要な薬剤である。しかしながら、実臨床において、カルバペネム系抗菌薬抵抗例に遭遇することは少なくない。Gaoらや中村造らは、カルバペネム系抗菌薬低感受性の <i>Bacteroides fragilis</i> について取り上げている。これらの研究では、カルバペネム系抗菌薬の耐性化メカニズムについて報告している。しかし、患者自身が持つリスク因子の検討についての報告は少ない。我々は、盛岡赤十字病院での腹腔内膿瘍におけるカルバペネム系抗菌薬の有効例と抵抗例を比較し、カルバペネム系抗菌薬抵抗例につながるリスク因子を調査することで、今後の治療効果向上に寄与できると考えた。</p> <p>(対象および方法)</p> <p>対象は、盛岡赤十字病院において、2019年7月～2023年8月までの期間に産婦人科、消化器内科、外科に入院し、腹腔内膿瘍にてカルバペネム系抗菌薬治療を行った患者とする。</p> <p>調査方法は、各調査項目（患者番号、氏名、性別、生年月日、入院日、入院時の年齢、症状の発症場所、症状の発症日、膿瘍の部位、菌種、投与された抗菌薬、癌の</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>既往、入院歴、手術歴、ステロイド薬の投与歴、プロトンポンプ阻害薬の投与歴、H₂受容体遮断薬の投与歴)について、電子カルテを用いた後ろ向き調査を行う。データは匿名化され解析を行う。研究への参加を拒否した場合に生じる不利益はない。</p> <p>研究計画書：http://www.morioka.jrc.or.jp/wp-content/uploads/2024/01/jouhou_koukai20240126_2.pdf</p> |
| 5. 利益相反 | 資金援助は受けておらず、利益関係はない。 |
| 6. 連絡先 | <p>盛岡赤十字病院 薬剤部 鈴木 達也 Tel 019-637-3111(内線 411)</p> |